

1 宮津市の人口・世帯数(平成23年2月末現在)

【住民基本台帳より(外国人登録含む)】

人口 20,779人(男:9,770人、女:11,009人)
(前年同月比 -207人)

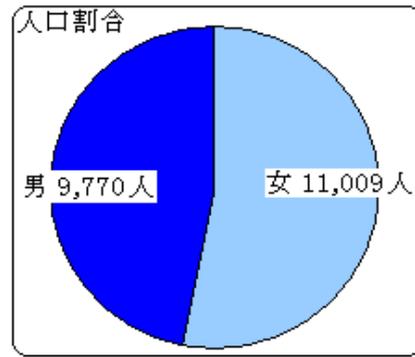
世帯 8,821世帯
(前年同月比 +23世帯)

<資料:宮津市役所 市民室>

2月末の宮津の人口は、前年同月比-207人(-1.0%)と、依然減少傾向が続いている。

しかしながら、世帯数は対前年同月比+23世帯となり、核家族化の傾向がみられる。

※ 住民基本台帳に基づいた人口・世帯数であり、推計人口とは異なります。



2 一般職業紹介状況

	新規求職数	新規求人数	就職件数	有効求人倍率(実数)		
				宮津出張所	京都府	全国
平成22年12月	155	213	85	0.78	0.68	0.62
(前年同月比)	-44	-9	+6	+0.19	+0.14	+0.15
平成23年1月	169	206	71	0.76	0.67	0.64
(前年同月比)	-35	-51	-8	+0.15	+0.11	+0.16
平成23年2月	244	262	79	0.75	0.70	0.66
(前年同月比)	-11	+100	-8	+0.17	+0.13	+0.16

<資料:ハローワーク宮津>

宮津出張所の有効求人倍率は、14ヶ月連続の増加となり、前年同月比で+0.15~0.19%となっている。また、全国では11ヶ月連続、京都府では10ヶ月連続の増加であった。

【有効求人倍率とは】公共職業安定所で扱った月間有効求人数を月間有効求職者数で割ったもの。この値が1より大きければ、求職者よりも求人数が多いことを意味し、就職口を求めている人にとっては相手を選ぶことができるため有利となっており、それだけ経済に活気があると考えられる。

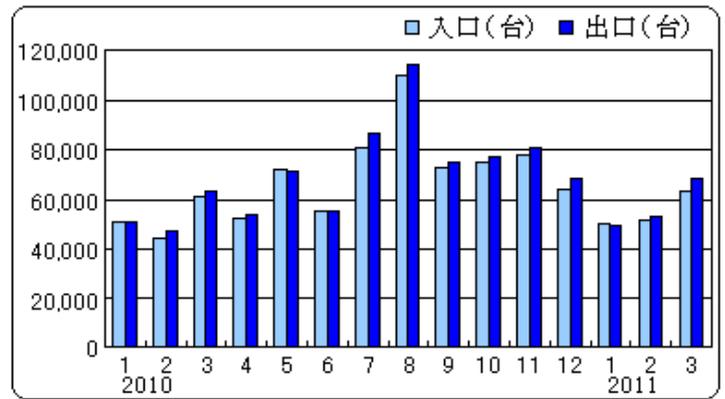
3 宮津観光入込状況

宮津天橋立IC交通量(綾部宮津道路)

	入口(台)	出口(台)
平成23年1月	49,704	49,523
(前年同月比)	-767	-637
平成23年2月	50,961	53,080
(前年同月比)	+6,397	+6,058
平成23年3月	62,559	68,332
(内 無料区間分)	18,409	25,164
(前年同月比)	+1,688	+5,451

<資料:京都府道路公社>

宮津天橋立IC利用者については1月に雪害の影響により、開通以来初めて前年同月比で減少となった。



宮津市内主要駐車場 利用状況 ※()は内バス台数

	市宮天橋立	智恩寺	パーキングはままち	籠神社
平成23年1月	381台(0台)	3,179台(291台)	10,505台(10台)	2,056台(629台)
(前年同月比)	+159台(0台)	-891台(-45台)	+987台(+7台)	+1,172台(-22台)
平成23年2月	131台(1台)	2,624台(380台)	9,438台(5台)	2,141台(850台)
(前年同月比)	+21台(+1台)	-125台(-104台)	+760台(-4台)	+886台(-81台)
平成23年3月	-	3,535台(301台)	11,239台(8台)	2,091台(672台)
(前年同月比)	-	-634台(-301台)	+691台(-5台)	+412台(-421台)

<資料:宮津市役所 建設室・智恩寺・(株)まちづくり推進機構・籠神社>

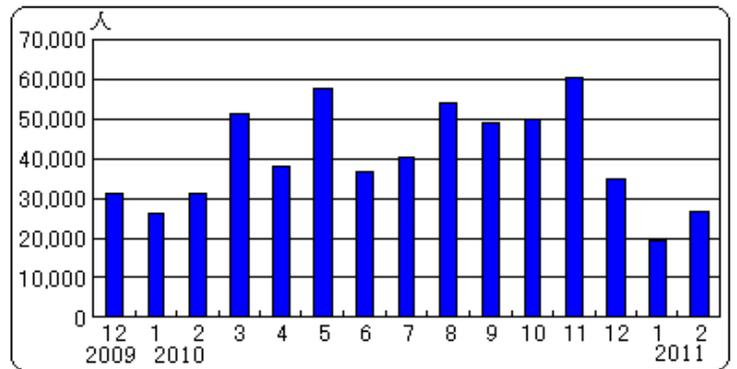
宮津市内主要駐車場の3ヶ月間の入込数については減少した駐車場もあるが、全体の前年同月比では3,438台の増加であったが、バスは975台の減少(3ヶ月間)であった。

天橋立傘松公園 ケーブルカー・リフト利用客数

平成22年12月	35,051人
(前年同月比)	+3,748人
平成23年1月	19,344人
(前年同月比)	-6,811人
平成23年2月	26,558人
(前年同月比)	-4,764人

<資料:丹後海陸交通株式会社>

1月は雪害により、前年同月比△26%と大幅に減少している。

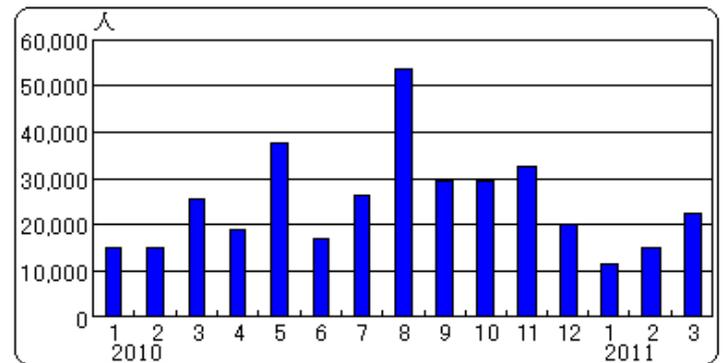


天橋立ビューランド モノレール・リフト利用客数

平成23年1月	11,508人
(前年同月比)	-3,757人
平成23年2月	14,885人
(前年同月比)	-250人
平成23年3月	22,255人
(前年同月比)	-3,378人

<資料:天橋立総合事業株式会社>

1月は雪害、3月は震災により、利用客数は大幅に減少している。



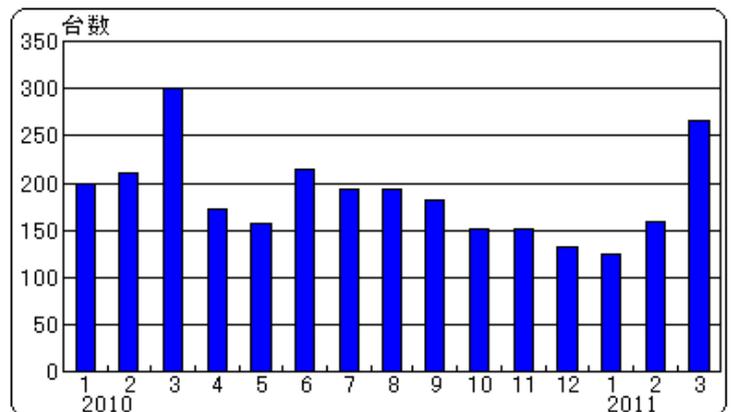
4 自動車車庫証明申請台数

【普通車(新車・中古車)】

平成23年1月	125台 (前年同月比 -75台)
平成23年2月	160台 (前年同月比 -49台)
平成23年3月	266台 (前年同月比 -34台)

<資料:宮津警察署>

車庫証明申請台数は前年同月比 - 11.3% ~ - 37.5%減少している。理由として、エコカー補助金が9月末で終了した事が考えられる。



5 トピックス

宮津景況調査アンケート(調査期間 平成23年1月～3月) 回答企業数 43社

※調査方法 建設業・小売業・卸売業・製造業・サービス業の5業種を、規模、事業内容等を考慮し、各10社以上、計59社にアンケートをお願いした。

問1 この度の震災による影響はございますか。(1、2は重複回答有り)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	サービス業	合計
1 影響がある	6	4	7	7	9	33
2 今後、影響が出てくる可能性がある	3	3	4	3	7	20
3 影響はない	1	0	0	1	1	3

1 影響がある

◇建設業

- 材料、仕入等が困難である。2件
- 心理的な先行き不安による工事の延期。
- 便乗値上。
- 既に上下水道に関する資材と機械類の修理部品で入荷困難なものがある。

◇小売業

- ・仕入が困難で、4月が大変だと思われる。 ・商品の品薄。
- ・一部商品と、修理部品の仕入困難。
- ・取引先工場が被災及び計画停電等の影響で入荷数量が減って、割当や入荷不可能な商品多数。又、東北各地に包装資材の工場が多く、材料があってもパッケージや袋等が入手できないために商品化できない。水については現在、政府の要請で各メーカーの水(特に20)が出荷停止になっている。等々 支障多数発生。

◇卸売業

- ・資材が一部入荷しない。 ・配管資材の入手が困難である。
- ・卸しの部門で多少影響がある(キャンセル等で)。
- ・仕入等がメーカー欠品のため一部納入不可能。
- ・被災地優先の商品があり、メーカーからの出荷停止があります。
- ・食品メーカーの半分以上が出荷制限を行っているのでオーダーをしても仕入が思うようにできない。(特に飲料メーカー)
- ・従来から品薄だった商品が関東方面の工場が被災し、関西方面の生産商品が関東へ流れ、商品の入荷が全くなくなる。

◇製造業

- ・キャンセル1件。 ・一部、原材料、資材等なかなか入手できない。
- ・商品の減産(東日本の需要の喪失のため)。
- ・被災地への支援物資搬入のため、運送が本地に来ない。(今後、安定配送ができると感じているが)
- ・多少、材料の仕入が難しくなりつつあります。4/1より値上げを行ったメーカーもあるようです。
- ・旅館、お土産店にキャンセルがあり売上が減った。飲食店が自粛により売上が下がった。
- ・製紙メーカーが東日本に多く工場を持っており、甚大な被害、流通も悪く、必要な印刷紙が必要な時に入荷されなく、又、絶対数も少ないため納期が守れない。

◇サービス業

- ・キャンセル2件(50万円程度)。 ・宿泊、宴会キャンセル。新規予約減少。
- ・キャンセル6件(15万円程度)。 ・新車の生産、部品の調達遅れ。
- ・自粛ムードによる客数減。 ・泊、宴会、昼食団体等、キャンセル約1,000人。
- ・すでに軽油が自家スタンドへの納入に前年度比で20~30%カットという申し出がでている。
- ・多数のキャンセル発生による売上減。材料費の高騰、仕入品一部入荷困難等。
- ・キャンセル2件(数万円)。Kビール仙台工場が被災し、樽生ビールが入荷(製造)不可。

2 今後、影響が出てくる可能性がある

◇建設業

- ・資材不足。 ・材料、仕入等。
- ・建設資材等の入荷不足と値段の高含み。

◇小売業

- ・夏野菜、果実は確実に影響が出てくる。北海道に集中恐れあり。海産缶詰も今後は欠品続出。鮭、鱒にもかなりの影響(養殖も含めて)。乳製品にも多大な影響あり。

◇卸売業

- ・商売で売れる物が無くなる可能性があります。 ・仕入の産地が東日本に移行していくので。
- ・不明也(影響あり)と感ずれども正確には把握できず。
- ・取引先の関係店の催事などに影響があるのでこれから問題が出てくる可能性がある。

◇製造業

- ・全国的な消費の低迷。 ・被災地域の生産計画分の生産応援。

◇サービス業

- ・食材仕入の問題。 ・中古車の在庫不足。中古車価格の上昇。
- ・資材、燃料等の値上り。 ・自粛ムードで宴会(歓送迎会)が無くなる。
- ・自粛ムードにより、今後のエントリーに大きな影響が見込まれる。
- ・宮津駅、天橋立駅に降りてくるお客様数の減少。夜の業務店のお客様の減少。

3 影響はない

- ・外注する業者はあったが、他にもあるので今の所特別な影響はない。

問2 貴社或いは業界等で、ご支援を実施又は予定はございますか。

◇建設業

- ・社宅を市へ提供。
- ・義援金。
- ・YEG関係で物資支援(気仙沼ピンポイント)。

◇小売業

- ・義援金の送金。(当社及び業界にて)
- ・当社及び業界等にて、義援金等の支援をしている。
- ・宮城のSM2社への支援物資を3/24に出荷。(カップ麺、乾麺、レトルト御飯、生理用品、ラップ、トイレットロール、ボックスティッシュ他)

◇卸売業

- ・何が必要か適切に知ったうえで、できる事をできるだけ行いたい。
- ・個人で知合いに発送済。

◇製造業

- ・日本赤十字社に義援金送付済。
- ・募金(従業員より)。
- ・当社では支援予定はありませんが、個人的には義援金をさせていただいております。
- ・義援金及び水を送った。
- ・支援物資 総額2億円(肌着、ソックス、パジャマ)。

◇サービス業

- ・募金。
- ・料理飲食業組合で義援金。
- ・乗務員で寄付金の募金。
- ・義援金30万円、救援物資(食料等50kg)。
- ・水、食料、毛布等の非常用備蓄品を提供。復旧要員の派遣。
- ・被災者の方の一時宿泊受入(無料)。
- ・色々な組織ではあるが業界、業者ではなし。
- ・義援金として実施済み。業界としては今のところない。
- ・グループ会社で義援金、物資の提供を実施済。

◇全業

- ・支援の実施及び予定はない 16件
- ・個人では微力ながら行っているが、会社としては残念ながら検討していない。
- ・今後、被災地の業界により支援要望に応じて対応。

問3 本件について、国・府・市・会議所への要望がございましたらご記入下さい。

◇建設業

- ・市は福知山市の様に市営住宅等に無料で被災者の人を迎え、1家族でも永住してもらえるようにしてはどうか。
- ・被災地ではYEGがリーダーになって物資配給しています。会議所から食料を送ってあげて下さい。
- ・工事発注後に、著しく値上がりしたものには、単価の見直しを願いたい。
- ・今こそ、坂本龍馬総等の快人のいる時。
- ・弱者保護の政治にして下さい。ただし、バラまきだけはやめて下さい。

◇小売業

- ・一刻も早い復旧を望む。
- ・対応のスピードUP、判断力のスピードUP。

◇卸売業

- ・国の対応が遅すぎる。
- ・被災者を積極的に宮津市内の空き住宅等への避難を勧めて欲しい。
- ・国は、特に菅総理の災害に対する対処の仕方が理解できない。国を救うべき時、その事をおろそかにし、我欲、自分の延命に災害を利用しているとさえ思うふしと行動が多すぎる。(人事について不用な現場視察、記者会見不足、組織の立ち上げ等々)。
- ・継続的な支援をお願いしたい。

◇製造業

- ・被災地以外への経済支援や融資の特別枠等で手厚くお願いしたい。
- ・被災地の復興については、地域に根ざした力強い経済的な復興となるよう導いてほしい反面、日本中の多くの地方が経済的ダメージを受ける。こんな時だからこそ、会議所頑張りましょう。

◇サービス業

- ・政府はもっとリーダーシップ発揮すべし。
- ・被災地の方々へ復興、ご支援を一刻も早く、心から願います。
- ・対応が後手、後手。すぐに中小零細への援助の方針を示し、安心させてあげる事が肝心。スピードと。
- ・適時適切な対応、情報公開、被災地早期復興対策、景気対策、雇用対策。

問4 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

(記入のない企業2社)

○全体

		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	1	9	6	17	8	減少
仕入単価	低下			11	24	6	上昇
採算	好転		6	6	23	6	悪化
今後の売上見込	増加		5	6	14	16	減少

○建設業

		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加		2	1	3	2	減少
仕入単価	低下				6	2	上昇
採算	好転			3	4	1	悪化
今後の売上見込	増加		2	1	1	4	減少

○小売業

		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加		2	2	1		減少
仕入単価	低下			2	2	1	上昇
採算	好転		1	1	2	1	悪化
今後の売上見込	増加		1	1	3		減少

○卸売業

		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加			2	4	2	減少
仕入単価	低下			2	6		上昇
採算	好転			1	5	2	悪化
今後の売上見込	増加		1	1	3	3	減少

○製造業

		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加		4	1	5		減少
仕入単価	低下			4	5	1	上昇
採算	好転		3	1	5	1	悪化
今後の売上見込	増加			2	5	3	減少

○サービス業

		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	1	1		4	4	減少
仕入単価	低下			3	5	2	上昇
採算	好転		2		7	1	悪化
今後の売上見込	増加		1	1	2	6	減少

問5 現在直面している経営上の問題点がありましたら記入して下さい。

◇建設業

- ・資金繰りが大変である。
- ・価格競争の激化。
- ・若手技術者。
- ・工事の受注が困難(府で受注しようと思えば、1件の工事につき、10社以上での抽選となるため)。
- ・工事の契約保証金など、ムダにねかせる資金を要すること。免除の幅を広げてほしい。
- ・採算の悪化により、古い使用機械等への設備投資に資金が廻らない。廻せる体力がヤセテきている。

◇小売業

- ・社員の資質の向上。
- ・水不足を含めて全ての仕入が困難になっている。

◇卸売業

- ・問題ありすぎて紙面記入できない。
- ・商品が入荷しない。入荷の見通しがたたない。
- ・取引先(小売店等)の減少により、売上の低下と設備の老朽化。

◇製造業

- ・原材料高、燃料高。
- ・売上減、採算の悪化。
- ・今までにない、先の読めない状況。
- ・人材の確保と売上のバランスが上手く取れない。
- ・会議所事業に参画しすぎて、仕事が手に付かない時がある。
- ・原材料の高騰と数量不足。
- ・売上の減少。

◇サービス業

- ・常に運転資金。
- ・来場者の減少。
- ・客単価の低下。
- ・キャンセル、自粛により、パート従業員の時間数の確保が困難である。
- ・若いドライバー不足。
- ・客数不足による売上低下。